



「ながら見守り」で、安心・安全な環境づくりに御協力ください

5月に他県で発生した登校中や保育活動中における痛ましい事故を受け、全国的に安心・安全な環境整備について議論されています。

これまで教育委員会や各学校では、スクールガードや防犯ボランティアによる見守り活動を依頼し、約60人が子どもたちの安全を見守っています。今回の事故を受け、教育委員会では、警察署と連携しながらパトロールの強化を行っています。また、危険箇所点検や見回り活動も充実させていくところです。

このような状況において、子どもたちが、より安全で安心して毎日を過ごせるよう、町民の皆様「ながら見守り」をお願いいたします。

「ながら見守り」とは

- ・特に事前の届け出の必要はありません。
- ・ウォーキングやジョギング、買い物、犬の散歩、花の水やり等を行いながら、子どもたちを見守っていただければありがたいです。
- ・子どもたちが困っているようでしたら、「大丈夫?」と声をかけていただくと、子どもたちは安心します。連絡が必要と思われる場合は、各学校や教育委員会にお知らせいただければ助かります。

子どもたちにとって安心・安全な環境づくりのために、御理解と御協力をよろしくお願いします。



僕の夢 私の夢

『笑顔いっぱいのおもいかん護士に』

No.36

中沖小学校 6年

おおの ここね
大野 心音

私の将来の夢はかん護士になることです。理由は、祖母が入院している時、かん護士の人を見て、すごいなと思ったからです。祖母やどんな患者さんにも、明るく・やさしく・笑顔で接してとてもかっこよかったです。

四年生の時、かん護士に密着した番組を見ました。ベテランのかん護士さんが出る中、一人だけ新人のかん護士さんが出ました。どんな仕事をするのかな、とワクワクしながら見ました。私はびっくりしました。ベテランのかん護士に負けないほど、必死に全力でがんばっていたからです。時には失敗しておこられることもあったけれど、それでもめげないということはすばらしいことだなと感じました。

かん護師は、患者さんの命をあずかっています。一つのミスが患者さんの命を危険にさらすかもしれません。患者さんは、一人一人飲む薬、食事、点滴の中身もちがいます。自分の担当の患者さんのことをしっかり知っておかなければなりません。そして、なによりも大切なのが、どんな患者さんにも、明るく・やさしく・笑顔で接し、患者さんの精神的な不安を少しでも減らすことです。どんな患者さんであっても、不安にならない人はいないのではないのでしょうか。患者さんの不安を少しでも減らし、前向きになってもらうことが大切だと思います。学年が上がるごとに関心を持ち、かん護士になりたいという気持ちがとっっても強くなってきました。

どんな夢でも、努力をしないことには夢はかないません。私は、かん護士になるという夢に向かって一生けん命努力し、将来は、笑顔いっぱいの明るいかん護士になりたいです。